

●いわいずみちょう

岩泉町

岩泉町の被害状況



最大震度 4

浸水面積 1km²

最大浸水深 28.46m



全壊 177棟

半壊 23棟

一部損壊 8棟



死者 10人

行方不明者



負傷者

大切な戒めの言葉を刻んだ津波記念碑

●ひがしにほんだいしんさいつなみきねんひ

東日本大震災津波記念碑

透

明度の高い湧水で知られる龍泉洞がある岩泉町は、北上山地の東部盆地に位置し、山あいの河川沿いに集落が点在しています。

なかでも津波記念碑が立つ小本地区は豊かな水産資源で栄えてきたエリア。太平洋に臨み、小本川の河口に位置しており、過去に明治、昭和の三陸地震津波、そして東日本大震災による津波で甚大な被害を受けました。津波記念碑はこの時の教訓をもとに建立。石碑前面には「命を守れ」という言葉とともに、この地域に語り継がれてきた津波に対する教訓が、そして石碑背面には東日本大震災の被害状況が記されています。さらにこの地区には命を救った避難階段があります。震災時に津波で浸水した小学校の児童たちが高台(国道45号)に向かって必死で駆け上がった階段です。この階段は震災の2年前に設置されたばかりで、まさに間髪で難を逃れたのです。



碑が設置されている小本津波防災センター。震災時に津波で公共施設が被害を受けて使用できなくなったことを教訓に、今後、有事の際はここに集まり助け合おう、という思いを込めて建設された



背面に被害状況が記され、津波の脅威を後世に伝えていく。前面には「命を守れ」と刻まれた文字の横に「避難を呼びかけ高台に逃げろ・避難したら絶対に戻るな」など、命を守るための5つの教訓が



旧小本小学校の児童88人は、学校から高台の国道45号につながる避難階段を駆け上がり、間一髪で無事に避難できた。この避難階段についての伝承看板は浜の駅おもと愛土館に掲示されている

? ? 考えてみよう

Q1 川を遡上する津波から小本地区などの平地を守るため、全長221mと国内有数の規模を誇る「小本川水門」が昭和28年(1953)から約40年かけて整備されましたが、東日本大震災ではどの位の規模の津波が押し寄せたのでしょうか?

A1 水門は12mの高さだが、東日本大震災の津波は水門を越える津波だった。この時の教訓として「避難を呼びかけ高台に逃げろ・避難したら絶対に戻るな」と津波記念碑に刻まれている。

慰霊碑
公園

施設DATA

●ひがしにほんだいしんさいつなみきねんひ

東日本大震災津波記念碑

☎なし

MAP P112E2

⑤岩泉町小本南中野239-1

④三陸沿岸道路岩泉龍泉洞ICから車で1分

👁️見学自由

🚗あり(大型バス:なし)